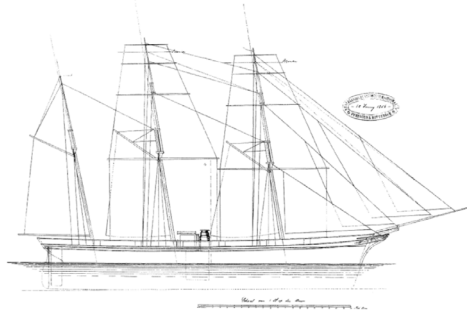


「ふね遺産」(推薦様式) : A4 一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

No.(*)	内容	備考
1. 対象物・資料の名称・所属または所有者	「咸臨丸」 江戸幕府、明治政府	原名は Japan (ヤパン、ヤーパン) 1857~1868 幕府軍艦 1869~1871 北海道開拓使の輸送船
2. 対象物の作成・存在時期	1854 年に幕府から発注され Fop Smit & Co. (Kinderdijk, オランダ) にて建造, 1857 年 2 月に竣工し, 同年 8 月に長崎に回航された. 1871 年北海道木古内沖にて座礁沈没した. (右図) オランダに現存する咸臨丸 (Japan) の帆装々置図 (船の科学館「船の科学館ガイド 7, 咸臨丸」より)	
3. 現状	木古内沖に沈没した船体が残っているか現在調査中	
4. ふね遺産認定基準の該当項目(**)	【認定対象】 (4) 後世に伝承すべき重要な技術や事象を示すもの 【認定基準】 (7) ふね関連技術と社会・文化の関係上重要な、初めて、または最古のもの	
5. 歴史的・工学技術的意義	1. 歴史上はじめて太平洋横断を行った我が国所有の船である, 特に米国からの帰航ではほとんど日本人のみで運航したとされる. 2. 福沢諭吉が、軍艦奉行木村撰津守の従者として咸臨丸で渡米したことは有名。	
6. 参考資料・文献 (本表に収まらない場合は別途添付する)	・ 咸臨丸関連図面 (1969 年オランダロッテルダム海事博物館で発見された) ・ 小野友五郎作成の航海日誌 (国立国会図書館) ・ 出航記念碑 (浦賀)、入港百年記念碑 (San Francisco, CA)、顕彰碑 (坂出市櫃石島) が存在 ・ サンフランシスコ到着後亡くなった 3 人の乗組員の墓 (Colma, CA) が存在. ・ 咸臨丸難航図 (横浜開港資料館) の他、幕末小笠原島日記 (航海記録あり) 等の資料が数多く遺されている。 ・ 文倉平次郎 : 「幕末軍艦咸臨丸」昭和 13 (1938) 年 <名著刊行会が昭和 54 (1979) 年に復刻> ・ 安達裕之 : 「咸臨丸と浦賀乾船渠」 (海事史研究 第 69 号, 2012) 等	咸臨丸子孫の会 HP kanrin-maru.org